



日本ろう者スキー協会 中長期計画（～FY2029）



目指す姿

日本ろう者スキー協会は、内外から信頼され、社会とともに発展しつつあるNF団体であり続けたい。そして、登録競技選手全員が安心して強化活動に取り組み、自信をもって競技力向上に挑戦できるようにしたい。

アクションプラン

- ～FY2023 1. インテグリティの確保ができている 協会として、スポーツ・インテグリティ(誠実性・健全性・高潔性)を確保する
- ～FY2025 2. 組織体制の強化ができている 協会の組織体制を強化する
- ～FY2027 3. 競技選手の拡大が図られている 登録競技選手を拡大していく
- ～FY2029 4. 財務体質の強化ができている 補助金依存体質から脱却し、自主財源を確保していく

戦略1

- ✓ 全員がスポーツ・ガバナンスコード体系について理解を深め、知識を共有する
- ✓ スポーツ・ガバナンスコードに則った規程整備、行動指針を策定し、外部に公開する
- ✓ 全員が規程を遵守し、行動指針に則った行動をする

戦略2

- ✓ 理事一人一人が組織のキーマンとなり、強化スタッフはチームの運営者の一人となって、協会を支えていく
- ✓ 自チームや担当業務以外の課題にも取り組む姿勢を作っていく
- ✓ 全員が規程を理解し、行動指針に則った行動をする

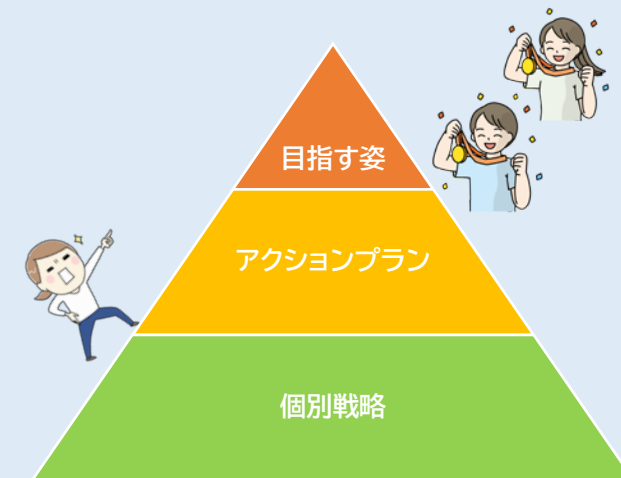
個別戦略

戦略3

- ✓ 全日本スキー連盟、日本カーリング協会等の聴者NF団体と連携を進め、デフリンピックの認知度を高めていく
- ✓ 地域のろう学校、難聴学級、デフリースクール、聴覚障害教育支援団体等と連携を進め、有望な聴覚障がい者選手の情報を幅広く収集していく
- ✓ 地域のろう学校だけではなく、前述の聴者NF団体、都道府県障がい者スポーツ協会等と連携を進めながら、有望な聴覚障がい者選手の情報を幅広く収集していく
- ✓ 2025年東京デフリンピックや、当協会のホームページ、SNS等を通じて冬季デフリンピックの魅力等の発信を行う等、デフリンピックムーブメントを通して当協会の存在をアピールする

戦略4

- ✓ クラウドファンディング、スポーツマーケット等、資金調達システムを積極的に活用する
- ✓ 各自治体、各企業が募集しているアスリート支援プログラム等の助成事業へ積極的に応募する
- ✓ 講習会、選手権大会等を開催し、参加料を集める
- ✓ 企業スポンサーを積極的に獲得していく
- ✓ ホームページやSNS等を通じて冬季デフリンピックの魅力等の発信を行い、当協会の存在をアピールし、デフリンピック認知度を向上させる
- ✓ オリンピック・パラリンピック他のNF関係団体と連携を図り、共同合宿等、一緒に活動を行う



アクションプラン	FY2023	FY2025	FY2027	FY2029
1. インテグリティの確保	→			
2. 組織体制の強化	→	→		
3. 競技選手の拡大	→	→	→	
4. 財務体質の強化	→	→	→	→

